

2005年6月9日

住民向け地図システム「CYPORTAL-GIS」を発売

公共施設や防災など、住民の生活に関わる情報を地図連動で Web から提供

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：堀越 彌、本社：東京都渋谷区）は、電子地図を利用して住民へ様々な情報提供を行う住民向け地図システム「CYPORTAL-GIS（サイポータル ジーアイエス）」を、全国の自治体に向けて本日より発売いたします。

「CYPORTAL-GIS」は、防災・消防・福祉・環境・教育・商工振興など、住民の生活に密着した様々な情報を電子地図上に展開させ、住民にインターネットで公開するWebシステムです。病院や公共施設をはじめ、商店街情報、イベント会場通知、災害時の避難場所通知など、幅広い用途に利用可能です（注1）。

当システムの大きな特長は、自治体職員だけでなく住民からの情報公開が可能な点です。そのため、自治体と住民が双方向で情報提供・交換できるほか、常に最新のコンテンツを公開・維持できます。また、画面デザインのカスタマイズが可能なため、自治体ごとの特色を出すことができます。

「CYPORTAL-GIS」により、自治体は短期間で住民サービスを強化できるとともに、住民からの情報提供に基づいた市街地の状況把握やイベント周知など、町づくりや地域の活性化を促進できます。

なお、当システムの第1号ユーザとして、東京都八丈町の「八丈島総合ポータルサイト」が4月25日より公開されています。当サイトには八丈島の各施設情報（約600強）が電子地図とともに掲載されており、様々な切り口（観光・特産・生活情報等）で検索・閲覧できます。

当社では「CYPORTAL-GIS」を、合併完了団体や「e-ADWORLD（注2）」導入自治体をはじめとする全国の自治体に向けて拡販します。

（注1）「CYPORTAL-GIS」の用途事例

- ・バリアフリーマップ
- ・ハザードマップ
- ・観光マップ
- ・通学区域マップ
- ・保育所、託児所案内
- ・イベントマップ
- ・住民の意見・要望入力
- ・工事情報
- ・ごみ収集案内
- ・商店街案内 など

（注2）当社開発の自治体向け各種業務アプリケーションパッケージ製品群



▲「CYPORTAL-GIS」を利用した八丈島総合ポータルサイト
<http://www.8jyo.jp/>

1. 「CYPORTAL-GIS」販売の背景

政府は、電子自治体の大きな柱として地理情報システム（統合型 GIS）の活用を推進しています。その動きを受けて、各自治体では、複数部署で地図を共用できる環境を整備していくことで業務の効率化を進めようとしています。

現状、自治体の行政情報のうち地図に関わるデータはかなりの部分を占めています。情報公開への積極的な対応が自治体に求められるなかで、地図データの活用を図ることは、電子自治体として必須項目となっています。

2. 「CYPORTAL-GIS」の特長

(a) 住民からの情報収集が可能

情報の鮮度は、Web サイトの運用において大きな課題となります。

「CYPORTAL-GIS」は、住民や自治体だけでなく、商工会議所、観光協会や NPO などに情報の登録を委託することができ、常に最新の情報提供を可能にし、運用管理の負担を軽減します。

また、自治体への意見・要望の収集や、住民同士の情報交換・情報提供などにより、コンテンツの充実を図ることが可能です。例えば、住民からの情報提供を活用した市街の状況把握やイベント実施の情報提供など、町づくりや地域の活性化に利用できます。

(b) システムの柔軟性と信頼性

地図表示画面のデザイン変更、コンテンツの追加、詳細情報項目が追加でき、各自治体の特色を活かした画面構成にすることができます。地図データやコンテンツの管理には汎用データベースを採用しており、信頼性が高く、使いやすいシステムとなっています。

また、当社の行政ポータルサイト構築パッケージ「CYPORTAL」と連携することで、地図コンテンツの管理だけでなく、ホームページコンテンツの管理やテンプレートを使用した簡単なホームページ作成にも対応できます。

(c) クライアント設定が不要

地図データやコンテンツは、データ送信時に画像（ラスターデータ）に変換して送信しますので、クライアント PC には、閲覧のための特別なソフトウェアや設定の必要がありません。

(d) シンボル検索のサポート

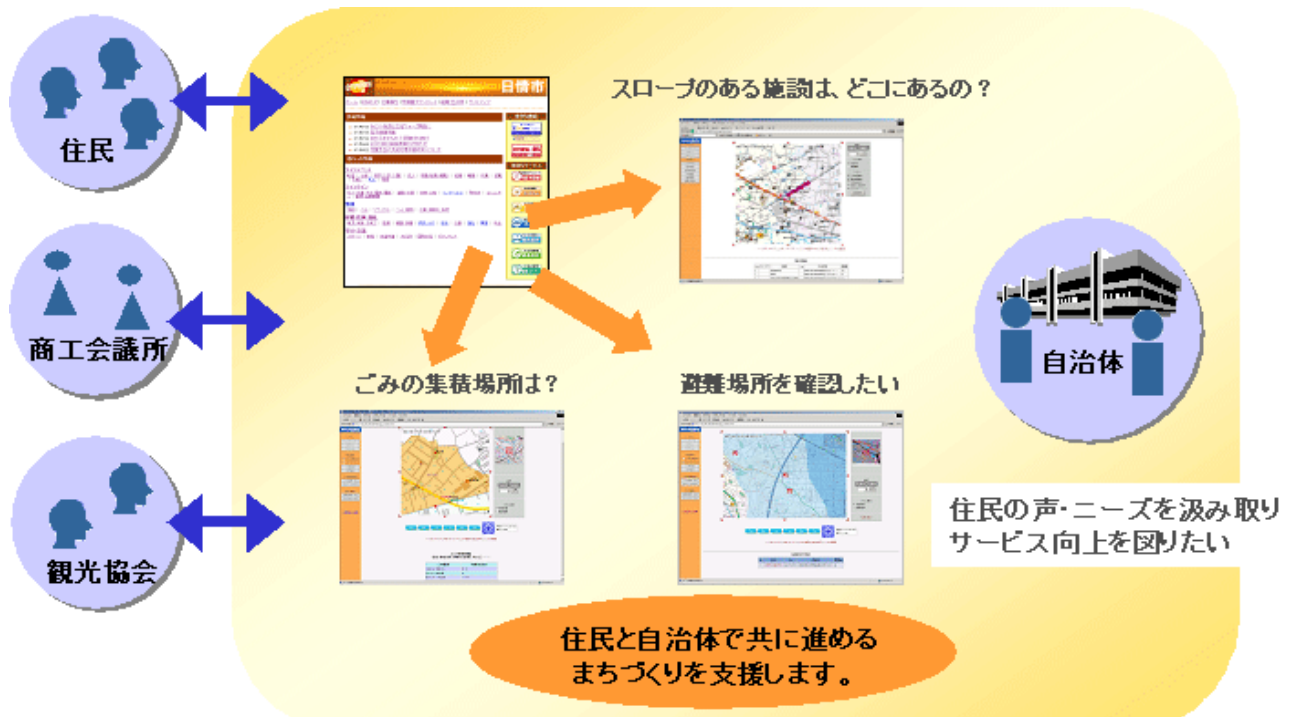
バリアフリー情報などをシンボル（アイコン）で表示し、詳細情報をわかりやすく提供します。

また、シンボルを検索条件に、登録された情報を検索できる機能をサポートしています。例えば、「スロープ設備のある施設」を検索条件とすることができます。

(e) 統合型 GIS への拡張が可能

汎用データベースを採用しているため、庁内の GIS を統合して、統合型 GIS として運用することもでき、総合ポータルシステムに発展させることができます。

3. 「CYPORAL-GIS」のシステムイメージ図



4. 販売価格、販売目標、販売対象

- (1) 販売価格：基本システム 100万円から（パッケージのみの価格）
- (2) 販売目標：3年間で30団体、10億円の売上（累計）を計画（ハード、保守売上を含む）
- (3) 販売対象：全国の地方自治体

5. 問い合わせ先

【お客さまからの問い合わせ先】

商品問い合わせセンター FainDesk（ファインデスク）

TEL 0120-346-401（フリーダイヤル）受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日は除く）

FAX 03-3770-5712 e-mail faindesk.p@hitachijoho.com

【報道機関からの問い合わせ先】

CSR本部 広報部 広報・IRグループ 松林、杉山（〒150-8540 東京都渋谷区道玄坂1-16-5）

TEL 03-3464-5073 FAX 03-3496-5684

以上

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。